

週報 第3247回

会長 上田 秀朗 副会長 渡辺 万寿
幹事 西田 佳郎 SAA 西端 政博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2024年5月31日) 第3247回

■ プログラム

卓話担当 中田 広宣 会員

■ 次週のプログラム

6月7日: 卓話担当 森田 真一郎 会員

■ 今後の予定

- 6月14日: クラブアッセンブリー
各部門委員長・理事
- 6月21日: 「一年を振り返って」
会長・幹事・SAA

■ 祝 誕生日

小門 茂樹(31日)
森田 真一郎(1日)

■ 今月のロータリーソング

我等の生業

■ 先週の例会



会長の時間 上田 秀朗 会長

皆さん、こんにちは、先日の家族例会に参加の皆さん、あいにくの天気でしたが、逆に少し空いていてスムーズに行ったかもしれません。ご参加ありがとうございました。

さて、今日はNHKの朝ドラ「虎に翼」の話題です。同名の原作本はありません。しかし、伊藤紗莉演じる主人公猪爪寅子には実在したモデルがいます。それは女性初の弁護士となった三淵嘉子です。戦前、女性に唯一門戸を開いていた明治大学法学部に学び、戦後、判事や裁判所所長を務めるなど、女性への偏見や差別で覆われた「ガラスの天井」に挑戦続けました。嘉子は、1914年、台湾銀行勤務の武藤貞夫の子

今月の歌

茶つみ

夏も近づく 八十八夜
野にも山にも 若葉が茂る
あれに見えるは 茶つみじゃないか
あかねだすきに すげの笠

としてシンガポールに生まれました。当時、台湾銀行は事実上の台湾の中央銀行の役割をしていましたので、父貞夫はエリート銀行員ということになります。シンガポール、ニューヨークと海外勤務の経験もあり、進歩的な考えの持ち主でした。そんな父の勧めもあり、嘉子は弁護士を目指すようになります。また嘉子の弁護士としての使命感が形成される事件も発生します。それはドラマでは共重事件とされていますが、史実では1934年の「帝人事件」となります。この事件の発端は1927年の金融恐慌で破綻した「鈴木商店」が台湾銀行に担保に差し出していた、帝国人造絹糸、現在の「帝人」の株22万株の処分にあります。この帝国人造絹糸株、会社の業績好調に伴い、高騰します。当然大儲けした関係者が出ました。それを「時事新報」という新聞が全くウラドリせず「政官財癒着の構造」と記事にしてしまいます。結果、検察が動くこととなります。どうやら当時の検察は「リクルート事件」のような構図を描いていたようで、この誤った構図のおかげで財界人、帝人社長、台湾銀行関係者、大蔵省の次官や銀行局長まで16人が逮捕、起訴されてしまいます。この中に嘉子の父親も含まれていました。実に勾留、取り調べは200日におよびましたが、裁判では物証も犯罪の痕跡もないとして全員無罪となります。典型的な印象操作、冤罪事件で終わります。ところが当時の斎藤内閣は総辞職に追い込まれます。この「帝人事件」を機に、国民の政党政治への批判が高まり、軍部の台頭を招き、日本は戦争への道に進むこととなります。

それでは、その後の嘉子の生涯を早送りで説明したいと思います。何故早送りかという、あまり詳しくしゃべると朝ドラをご覧になっている方のおしかりを受けるからです。1940年、東京第二弁護士会に登録し、日本初の女性弁護士となります。1941年、最初の夫和田芳夫と結婚し、長男が生まれます。しかし、夫は召集先の中国で発病し1946年病死してしまいます。ドラマのほうは、たぶん来週ぐらいから、シングルマザーとしての奮闘記が始まると思います。1947年、新憲法で男女同権が宣言されるや「裁判官採用願けんたろうい」を提出。1952年、名古屋地裁判事に就任。1956年、同じ判事の三淵乾太郎と再婚、三淵姓となる。そして1972年、女性初の裁判所所長となりました。

また、三淵嘉子は法曹界に大きな業績も残しています。アメリカの家庭裁判所を視察し、日本の家庭裁判所制度の導入に尽力。その後延べ5,000人の少年少女の審判に携わり、「家裁の育ての母」ともいわれています。また1963年には「原爆裁判」を担当、被爆者への賠償こそ認めませんでした。日本の裁判所

で初めて「原爆投下は国際法違反」と明記する歴史的な判決を下しました。国内だけでなく世界的にも大きく報道され、高く評価されました。しかし、1979年退官後、ふたたび弁護士となりましたが、1984年69歳で死去しています。

自らの力で新しい道を切り開き、法曹界における女性活躍の先駆者となった三淵嘉子。困難にもめげず華やかに活躍した感もありますが、こんな言葉を残しています。

「自分に力をつけて、そして人間らしく生きていこうという気持ちが強く、職場でも地味に働いていました」
(明治大学短期大学部創立50周年記念講演より)。

三淵嘉子の生き方はきっと私たちに自信と勇気を与えてくれるはずです。今日の話に興味をそそられた方は朝ドラを見てください。

今日の会長の時間は以上です。

幹事報告

西田 佳郎 幹事

なし

委員会報告

先週日曜日、家族例会ご参加いただきましたメンバーの皆さん、ありがとうございます。天候の方は若干悪かったです。皆様のご協力のおかげで何とか無事終わることが出来ました。皆さん、ありがとうございます。
(瀧谷 達 親睦活動委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
5/24	32名	12名	—	72.73%
5/17	35名	9名	2名	84.09%

■ メークアップ

榎本(5/16 高師浜RC)

南出(5/10 理事役員会)

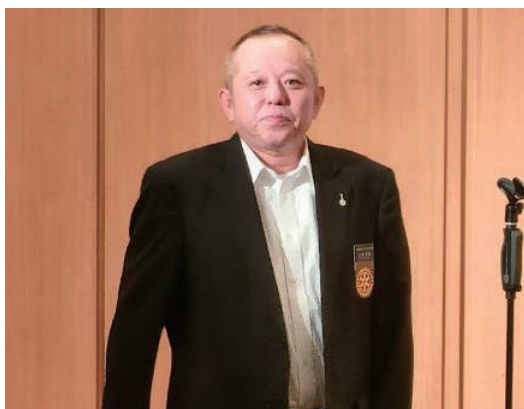
■ ニコニコ箱

- ・マジシャン隼人様、本日はよろしくお祈いします
(上田)
- ・マジシャン隼人様、本日は宜しくお祈いいたします
(西田)
- ・マジシャン隼人さま、本日の卓話楽しみにしています。
宜しくお祈いします(西端)
- ・マジシャン隼人様、本日の卓話楽しみにしています。
どうぞ宜しくお祈いします(山本)
- ・欠席のおわび(藤野)
- ・家族例会欠席のお詫び(櫻井)
- ・早退のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	16,000円
累計	626,000円

先週のプログラム

人を欺くテクニック「ミスディレクション」について



卓話担当 山本 博章 会員

マジックの歴史は古く、紀元前2500年頃古代エジプトから始まったとされ、人を楽しませる娯楽として4000年以上の歴史があります。年齢、性別、国籍、場所を問わず、コミュニケーションのツールとしても非常に役立ちます。一度はマジックをやってみたいと思ったことがある方、興味を持った方も多くいると思います。私自身よくお客様にマジックのタネを教えると言われますが、マジシャンにとって一番大事な仕事はタネを守ることだと私は考えております。今回はマジックの種明かしをするわけではありませんが、マジックのテクニックの一部を実演も踏まえて紹介することで、皆様に少しでも興味深い卓話ができればと思います。

まず、私のプロフィールですが、小学生の時にマジックに魅了され、約30年独学でマジックを学んできました。マジックを始めた当初は当時テレビで活躍していたMrマリック、トランプマンなどの出演番組を全てビデオに録画し、何度も繰り返し再生してマジックのタネを見破ることから始めました。中学生の時にマジックショップで購入した教材本でマジックの基礎を学び、マジックバーなどで経験を積み、現在はプロマジ



卓話講師 マジシャン隼人 様

シャンとして様々なイベントやパーティーで年間300本以上のショーを全国で行っております。

まずマジックといっても様々なジャンルがあります。

- ①クローズアップマジック＝トランプやコイン、日用品を使って、お客様の至近距離で演じるマジック。
- ②ステージマジック＝大人数の観客に対してステージで演じるマジック。
例としては、鳩を出すマジックや手の中からトランプやお札などを沢山出すマジックなど。
- ③イリュージョン＝大掛かりな装置や道具を用いて、派手な演出を行うマジック。例としては、空中浮遊、人体切断、人体交換、脱出マジックなどがあります。
- ④メンタリズム＝人の心を読み取ったり誘導したり、心理をコントロールするパフォーマンス。
などがございます。そして、どのジャンルのマジックにも必ず使用するテクニックがございます。

それが今回のテーマである「ミスディレクション」(日本語では誤認誘導)と呼ばれるテクニックで、マジックの基礎であり奥義でもあります。マジック以外にもスポーツや格闘技などでも使用され、バスケット

ミスディレクション

- ① フィジカル(視覚・聴覚・触覚)
- ② サイコロジカル(先入観・思い込み)
- ③ タイム(記憶力)

ボールの漫画「黒子のバスケ」で度々登場する技としても有名です。

更にこのテクニックは、悪用すればギャンブルのイカサマ、詐欺やスリなどの犯罪でも使用されているテクニックで、人間は簡単に騙されるという事も知って頂く事も重要かと思えます。

ミスディレクションの目的は「人の視線や思考を違った方向に向ける」ことで、基本的に3種類の分類に分けられます。

- ①フィジカル・ミスディレクション(身体的)
- ②サイコロジカル・ミスディレクション(心理的)
- ③タイム・ミスディレクション(時間)

フィジカル・ミスディレクションとは視覚、聴覚、触覚など相手の感覚器官に働きかけ注意力をそらすことで、極端な例だと、「UFOだ!」と空を指さして、相手が注意を逸らした隙に悪戯するというものも、いわばフィジカル・ミスディレクションです。プロのマジシャンはこれを極々自然に行うので、今ミスディレクションを使ったと気付かれることはほとんどありませし、慣れれば100人以上の人の目線を外す事も可能です。演技を見た後の観客が、「マジシャンは決してカードには触らなかつたのに、不思議なことが起こった」という主張をすることがあります。

しかしこれは多くの場合、マジシャンによるフィジカル・ミスディレクションにかかっているものであって、実際にはミスディレクションの影で、マジシャンは堂々とカードに触っていたりします。ミスディレクションの達人であった名手、ジョン・ラムゼイという方の言葉に次のようなものがあります。

「もし観客に何かを見てもらいたいと思ったら、あなた自身がそれを見なさい。」

「もし観客にあなた自身を見てもらいたいときは、あなたが彼らを見なさい。」

これは視線を使ったフィジカル・ミスディレクションの

基本です。マジシャンは、観客の注意を引きたい部分を自ら見て、見て欲しくない部分には気づかせない為に、そちらは一切見ないのです。

またもうひとつの真理として、「観客の視線は動くものに集中する」というものがあります。たとえば、コインを右手から左手に渡したフリをして、実際には右手に残っているとしましょう。このときマジシャンは、握ったほうの左手を動かして観客に示し、右手のほうは目立たないようにそっとおろすわけです。実際には、これら動きと視線は併用されることがほとんどです。私もフィジカルミスディレクションを利用して演技中にお客様の腕時計にコインを挟んだり、腕時計ごと盗ってしまうというパフォーマンスを行います。気づかれる事はほとんどありません。サイコロジカル・ミスディレクションとは、常識や先入観、思い込み等を利用した、心理的な手法。

例えば、次のような例を考えて見ましょう。

マジシャンはマグカップを持っている。手に持ったコインをマグカップに向かって投げ下ろし、同時に”チャリン”という音が聞こえた。また、投げ込んだ後のマジシャンの手は空に見えた。恐らく大抵の観客は、この一連の動作によって、コインがマグカップに入ったものと信じるはず。しかし実際には、マグカップの中に確かにコインが入ったことを確認してはいません。手から投げ下ろせばコインは落ちる。マグカップにコインが入れば音がする。これは人間ならばだれでもが持っている常識です。この常識により、実際にはコインが入ってなくても、マグカップにコインが確かに入ったと錯覚するわけです。常識や先入観が間違った内容を真実としてインプットしてしまうという事です。

最後にタイム・ミスディレクションとは、時間のズレを利用して人の記憶をコントロールしてしまう方法。人間の記憶は、実は非常にいい加減なものです。実際に体験したにも関わらず、時として勘違いや思い込みを生じる事もしばしばです。例えば、マジシャンがトランプを“切ってから選ばせた”のか、“選ばせてから切った”のか…よっぽど意識しない限り、細かい順番まで観客は記憶し切れません。そんな記憶のメカニズムを巧みに利用したミスディレクションです。マジシャンはこれらのテクニックを用いて人を欺いて不思議な現象を起こし、エンターテイメントとして人を楽しませます。

